みなみ市民活動・多文化共生ラウンジ情報紙
MINAMI-LOUNGE：http://tabunka.minamilounge.com/
2021年 6月 発行NO.101

アクセスみなみ

みなみラウンジ10周年・アクセスみなみ100号記念

みんなで選ぼう！みなみラウンジのロゴマーク

投票へのご参加
ありがとうございました！！

ロゴマークが決定しました！

市民活動が活発に行われる心弾む様子を表現した「心」がモチーフとなっているロゴマークです。

みなみラウンジ

合計129名の方に投票に参加いただき、集計の結果、最も多く票を獲得した左のロゴマークに決定しました。
たくさんのご参加、心よりお礼申し上げます。今後このロゴマークをポスター・チラシなど様々なところでラウンジのシンボルとして活用してまいります。

このロゴマークに投票した皆さんに選んだ理由を伺いました。

第一印象は海の波のようなブルーを囲み、皆で集っている楽しい雰囲気を感じました。まさに多文化共生の役割を表しているロゴだと思いました。
～子育て支援団体 代表～

人と人がつながっているように感じたから
～日本語学習支援教室 中学生～

第一印象でパッと見て、これだ！と思いました。はねている感じ、ほんわかしたイメージで若々しさもあり、すごくいい！
～日本語教室ボランティア男性～

色々な国の人たちが一緒に躍動しているイメージがあったので。
～日本語学習支援教室 代表～

優しい感じがするから
～地域の福祉ボランティア団体代表～

＜利用者のつどい開催のお知らせ＞

登録市民活動団体を対象に「利用者のつどい」を今年は初めてZoomとみなみラウンジでの対面の両方で開催します。
【日時】7月21日（水）13時30分～15時30分
【内容】・市民活動団体 意見交換会・交流会
・講演「助成金を活用して団体の活動を広げよう！」（仮）
講師：認定NPO法人エンパワメントかながわ　理事長　阿部真紀氏
・今年度の「わっフェスタ」の開催について
※Zoom練習会（希望者）を7月7日（水）14時～16時に行います。
この機会にZoomを使ってのオンライン会議にも是非チャレンジして下さい。
申込先：FAX: 242-0897　　Email: minami-kouza@yoke.or.jp

過去の利用者のつどいの様子

利用人数制限、換気、消毒を徹底し、開館しています。
来館の際には、マスクの着用・手指の消毒・体温測定などへのご協力をお願いいたします。

特集：みなみラウンジにWifi環境が整いました！

みなみ市民活動・多文化共生ラウンジでは、研修室利用の際、Wifiが利用できるようになりました。
パソコン相談室・日本語教室・学習支援教室などの登録団体がWifiを利用して活動をしています。Wifiが使えるようになったラウンジの環境で活動している団体の方々に使い勝手をインタビューしてみました。

＜PCサロンひまわり同好会＞
PCを通じて高齢者の趣味を育て、技術を学び、会員相互の交流と親睦を図り、いつまでも元気で楽しい日々を送れるように、そして技術をマスターし、各センターでボランティア活動を社会に貢献する目的で設立された会です。
中高年を対象に、市内2か所の会場を設け、パソコンの文章入力、エクセルの講義。インターネットの教室などを開いています。デジカメ撮影会（デジカメ持参）も行っていました。現在は、港南区と南区で勉強会を開いています。

在籍メンバー・先生・役員が毎回17名ほど参加する勉強会なので、以前はハブを使って、何本もケーブルをつないで使っていました。10台以上のパソコンをつなげるので、途中で途切れてしまうこともしばしばでした…今は、研修室にWifiが完備され、とても快適に利用しています。途中で途切れることもなく、ネットにつながり、気持ちよく勉強会ができています。（五十嵐さん）

インタビューした　五十嵐　正子さん
「窓から富士山も見え、景色もよく、快適に使わせてもらっています！」

インタビューした日は、17人の生徒が参加し、「パソコンのバージョンについて」等についての勉強会をしていました。

みなさん、真剣な表情で、先生の話を聞きながら、各自パソコンの操作をしていました。

＜ITサロン本部＞
一般市民へのIT普及のために設立された会です。第3・4金曜日にみなみ市民活動・多文化共生ラウンジでパソコン相談会を開いています。

インタビューした　篠崎　作三郎さん
「インターネットが使える環境が整って、大変助かっています。」

ネットでのサービスについて、相談会ではよく聞かれるので、インターネットが使える環境はとても助かります。「HPをご覧ください」といわれることが多いですが、見られなくて困っている方はまだまだ多く、なんとか操作できるようになりたいと思う方も増えてきています。ネットで調べたり、ネットで申し込みができると視野が広がるので、ネットが使える環境で相談会ができるのはありがたいです。（篠崎さん）

＜ITサロン本部の方々の感想＞
・有線がWifiに変わってよかったです。有線でつなげていた時は、人数が増えるとつながらないこともありましたが、wifiになってからはつながらない、ということもなく調子がいいです。
・有線だと、ケーブルが何本もいたるところに伸びている状態でしたので、足に引っかかったり、危なかったですが、今はすっきりしていて使いやすいです。

＜ラウンジより＞
今回紹介した団体以外にも,当ラウンジを利用している団体で、ITを活用した活動をしている団体が増えています。
パソコンの相談会を開く団体も複数ありますので、皆さんもわからないことがあったら、参加してみてください。
ラウンジでは、登録団体向けに貸出用パソコンの台数を増やします。プロジェクターや大型モニターも利用できます。Wifi環境が整備されたことで、活動が広がることを願っています。

私たち、ITを活用しています！ ～ボランティア教室や交流会の場で～

＜日本語ボランティア教室にて＞
ラウンジのPCとプロジェクターを活用し、ボランティアの方の教材をホワイトボードに映し出し、言葉の説明や使い方など行っています。「大きく映し出せて、注意書きや説明を書き加えることもでき、教えやすいです。」

＜子育て交流会にて＞
5月26日、外国人のための子育て交流会が、南区子育て支援拠点「はぐはぐの樹」との共催でひらかれました。今回は、南消防署のご協力で、救急の場合や火事発生の時の対応について、教えていただきました。外国人でもわかるように、やさしい日本語で説明をしてくださり、通報の疑似体験もしました。南消防署の皆様は、オンライン会議ツールを利用して、遠隔での参加でしたが、お互いの顔を見ながらの会話ができ、よい交流の場になりました。
当日は、はぐはぐの樹のスピーカーフォンが大活躍！参加者・通訳・ラウンジとはぐはぐの樹のスタッフ等、同じ部屋にたくさんの人がいましたが、みんなの声を画面の向こうの消防署の皆さんへ届けてくれました！

スピーカーフォン

＜南区施設紹介⑨＞横浜市別所地域ケアプラザ（南区別所1-7-23）
電話：045-716-3884　FAX：045-716-3885

横浜市別所地域ケアプラザは、旧南土木事務所跡地に建てられたマンションの１階（京急線高架側）に入っています。地域にお住いの方が自分らしく健康でいきいきと暮らしていかれるための専門職によるよろず相談場所として、また、住民相互の支え合いや交流の場を提供する貸館としても利用できる福祉保健の拠点となる施設です。
令和2年に開設したばかりですが、介護予防講座や介護者の家族の集い、メタボ予防体操倶楽部、小学生向けの科学工作や父親育児支援講座等、各年代に向けた事業を行っています。
地域の方のサークル活動としては、絵手紙、手芸、フラダンス、太極拳、パソコンクラブ、英会話等があります。
コロナ禍においてSNSを利用した情報発信に取り組んでいます。
施設紹介を兼ねた体操動画やラインのお友達登録、ブログを活用しています。

ロコモ体操（椅子バージョン）

ニッセイ体操　つるかめクス

別所地域ケアプラザのマスコットキャラクター
ベッシーとおかにゃん

ＬＩＮＥでの
情報発信にも
取り組んで
います！

別所地域ケアプラザ
LINE
友だち
募集中

ご利用案内　【開館時間】 月曜日～土曜日　9：00～21：00
日曜日・祝日　9：00～17：00
【休館日】 年末年始(12月29日～1月3日)

＜シリーズ：タウンニュースの記者が “見た・聞いた・感じた”＞

このコーナーでは、地域情報新聞「タウンニュース」南区版の門馬康二編集長が、日々、南区を回る中で感じたことなどを綴っていきます。門馬編集長は南区を担当して15年目。区役所などの行政機関や商店、市民団体などを取材し、イベントなどの現場にも足を運んで記事を書いています。

門馬編集長　（撮影：若尾久志）

ワクチン予約「詳しくはホームページ」で大混乱

新型コロナウイルスのワクチン接種が進んでいます。
横浜市では５月３日から接種の予約が始まりましたが、開始直後に予約専用サイトがパンクし、電話もつながらない状態が続くなど、大混乱が起きました。
混乱の発端は、80歳以上の高齢者に郵送された接種券でした。この郵送物には接種券のほか、ワクチンの説明が書かれた書類が同封されていただけで、肝心の接種会場や予約開始日などが何も書かれていませんでした。
市によると、高齢者約97万人に接種券を早めに発送する関係で、予約開始日などが確定する前に印刷、封入を終わらせる必要があり、このような事態を招きました。書類には「詳細は市ホームページでご確認を」となっていたためにホームページが見られない、ネットが不得意な人からの問い合わせ電話が殺到したことで混乱がさらに大きくなりました。
事情があったにせよ、市の対応はホームページが見られない人への配慮を欠いたと言わざるを得ません。後になって紙媒体を使った広報を始めましたが、市民に大きな怒りと不安を与えた事実は消えません。
「詳しくはホームページをご覧ください」ー。私もついつい使ってしまう言葉ですが、その網からこぼれ落ちてしまう人がいることを自覚しなければいけないと感じる出来事でした。

ワクチン接種について説明している市ホームページ

登録団体活動紹介リレー　点訳グループ「もみじ」

点訳を通し、視覚障がい者の福祉向上を支援しています！

主として、南区在住の視覚障がい者の支援を目的に公的資料や個別ニーズのために点訳奉仕活動を行っています。依頼によりプライベート点訳、体験学習実施、地域イベント参加、小中学校での展示学習指導などの活動をしています。

点訳とは？
普通の文字で書かれた文章を視覚障がい者が読める点字で書かれた文章に翻訳することです。

ボランティアの仲間を募集しています！
一緒に楽しく活動しませんか？

●●●活動のあゆみ●●●

南区の地域ケアプラザが開いた講習会に参加したメンバーを中心に、1995年にグループ名を点訳グループ「もみじ」として発足しました。幅広い年齢層のメンバーが勉強会を中心に点訳作業を行っています。

●●●今後の展望●●●

これからも依頼者の希望に添った点訳を心がけていきます。担い手の増加や育成のための講習会を開催していくと共に依頼者のニーズの開拓をしていきたいと考えています。

新しい街の先生紹介

相撲基本動作
上林　義之（かんばやし　よしゆき）**さん**

現役時代（写真左）と現在（写真上）の上林さん

相撲の基本動作を行い、心身共に健康を目指します。リハビリ、けが予防、バランス強化、ダイエット促進につながります。
（元大相撲幕内力士　大岩戸）

合気道
青木　清（あおき　きよし）**さん**

シニア海外ボランティアとして
ラオスやモロッコでも指導

試合のない合気道は、老若男女を問わず、年齢・体力に応じた稽古ができ、護身法も身に着きます。シニアの方には体幹を鍛え、体のバランスが向上する動作を習得していただきます。

～INFORMATION～

プロの演奏者による古箏演奏

<みなつなプロジェクト第3弾>

中国の文化体験

「みなつなプロジェクト」は外国人も日本人も**みんな**で**つながる**、**みなみ**区で**つながる**を掛け合わせ、仲良く暮らそうという願いを込めたプロジェクトです。

古箏を演奏する姜瑞雪さん

今回は中国の伝統楽器「古箏（こそう）」の演奏です。日本の琴とは異なる音色を持つ古箏は、躍動感あり、静謐な音色ありと豊かな表情をのぞかせます。古箏のお話や日本のお話もあります。

【日　時】2021年6月30日（水）14:00～15:30
【会　場】みなみ市民活動・多文化共生ラウンジ
【演奏者】姜瑞雪（ジャン ルイシュエ）さん

6/27までにみなみラウンジ（TEL：232-9544）にお申込み下さい。

新スタッフ紹介
武藤　きよ（むとう　きよ）

中国語を担当する武藤きよと申します。中区に住んで既に25年経ちました。
今までの経験を活かして、今後、外国の方の支援と相談や地域の連携など、役に立つように頑張りたいと思います。
どうぞよろしくお願いいたします。

みなみ市民活動・多文化共生ラウンジは、誰もが心豊かでいきいきと生活できる元気な地域を実現するために自主的な活動を応援します。市民活動・生涯学習の相談・情報の提供、機材の貸出・ミーティングスペース等の利用ができます。

活動のPR・仲間募集をしませんか？
利用登録団体は、各団体が行っている市民向け講座やイベントなどのＰＲ、メンバー募集などをすることが出来ます。ご希望の際には、いつでもご連絡下さい。

次回原稿〆切：8月31日（9月発行）

発行：みなみ市民活動・多文化共生ラウンジ
〒232-0024
横浜市南区浦舟町3-46　浦舟複合福祉施設10階
045-232-9544（日本語）
045-242-0888（外国語）
当施設は南区から委託を受け、YOKE（横浜市国際交流協会）が運営をしています。